

ma-ma (ま-ま) ってこんなところ

様々な特性を持った子どもたちが社会の中で生きていく「つらさ」を少しでも減らすために、私たちはアートを媒介にした療育をおこなっています。子ども自身で考えて自由に創作活動し、誰もがその能力を開花させる機会が得られるような環境を提供します。

アートは子どもたちの感情を動かし、色々な刺激を与えてくれます。でき上がった作品に失敗なんてありません。その作品は作った本人ばかりでなく、その作品を見た人も苦痛や心の傷を少しでも癒すことができるのではないのでしょうか。ma-ma は、障害のあるなしに拘らず、どんな子どもたちも地域の中で自分らしく暮らしていけるよう伴走し、気兼ねなく過ごせる居場所でありたいと考えています。

プログラム

美術系大学で専門技術を取得した児童指導員が、毎月異なる課題を提供し指導します。工作系を2つ、絵画系を2つの計4つの定型課題のほかに自由課題や専門課題を用意しています。

● 工作系課題

立体的な感性を身につけていきます。モノを作りながら手順や強度・重力の関係性などを自然な形で学習できます。

材料：紙粘土、段ボール、ボール紙、ペットボトル、プラ板、布地、木材、ゴム、磁石、ビーズ、金属など

● 絵画系課題

最もシンプルであり直接的な方法で、言葉にできない自分の思いや考えを「描く」ことで表現します。レベルに応じて、専門的な技術の習得もできます。

画材：クレパス、絵具、油性マーカー、水性ペン、パステル、油絵、墨汁、木工用ボンド、シェービングクリームなど

● 自由課題

決められた課題以外を希望する場合は、本人の自主性を尊重します。自分が作りたい、描きたいと思うものを自由に制作できます。

● 専門課題

本格的な絵画の学習や将来美術系に進みたいお子様のために、基礎から学べる課題を用意します。

プログラムを通して、5領域におよぶ発達を促します。

運動・ 感覚

- 工作や絵画の作業を通して、指先を繰り返し使うことで手先による細かな使い方を習得する
- 手、前腕、上腕、頭の動作を中心に身体全体の姿勢保持を習得する
- 素材を、見て、触って、叩いて音を聴き、匂いを嗅ぐなど、感覚器官を刺激し身体感覚を養う
- 物事に対して言葉にできないことを視覚または触覚表現する感性を育む

認知・ 行動

- 工作や絵画の制作を通して、形状、色、数量、重さ、空間の概念を習得する
- 制作活動を通して材料および道具の種類と使い方、描き方、組み立て技法などを習得する
- 対象物を絵画に描くことで、対象への観察力や理解を促す
- 工程に沿って制作することで先々の見通しを立てた行動を学習する
- 開始と終了の挨拶による気持ちの切り替えを促す

コミュニ ケーション

- 目的達成のために自分の意思や気持ちを指導員や他児童へ伝える発話を促す
- 自分の考えをより正確に伝えようとすることで語彙を増やす学習をする
- 絵画表現や工作表現など、発話以外の自己表現方法を学習する

人間関係 ・ 社会性

- 指導員や他児童との交流の機会を得て、人と関わる手段を習得する
- 教室で使う道具や設備、自分の制作物、他児童の所有物など、
パブリックとプライベートを学習する
- 他児童との関係性や事業所空間（公共空間）を維持するためのルールを学習する

健康 ・ 生活

- 制作途中作品を完成させるための定期通所で、生活リズムの習得を促す
- 授業の開始時間・終了時間を繰り返すことで、時間感覚を習得する
- 手洗い、うがいなど衛生面の習慣化を促す
- 授業終了後の片づけなど整理整頓の習慣化を促す